

令和3年度

事業計画書

公益財団法人 伊賀市文化都市協会

令和3年度 公益財団法人 伊賀市文化都市協会事業計画

令和3年度は、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」（平成24年6月27日施行）が掲げる「心豊かな国民生活及び活力のある地域社会の実現」を目指し、伊賀市文化会館及び協会創立30周年を迎える当協会として、「ココロにふんと。」をキャッチフレーズに、「芸術文化が地域住民の心のよりどころとなり、創造と継続を繰り返し、人・コト・モノを繋ぐまちづくり」を目標に、すべての人が芸術文化に触れる機会を提供し、次世代の育成を意識しつつ、多様な文化まちづくり事業（自主文化事業）を実施するとともに、伊賀地域内の関係機関・団体との連携、地域や市民との協働を一層推進しながら、地域住民の教育、文化芸術、体験学習、生涯学習の振興に資するばかりでなく、文化振興を手段とした新たな地域の創造に挑戦する。

また、産学官連携による地域産業創造センターの運営を通じ、環境・食・文化等に関する地域産業の振興に資する事業を行い、創造性豊かで潤いと活力に満ちた地域社会の健全な発展に寄与する。

1. 公益目的事業（過去の画像を掲載。青文字は、伊賀市文化会館開館30周年記念事業・ふんと30周年記念事業）

【公1】 文化芸術の普及・振興事業

「伊賀市文化振興ビジョン」の基本理念・基本方針のもと、伊賀市文化振興プラン」（5年計画：令和3年4月～令和8年3月）の実行計画の着実な遂行として、子どもや高齢者、障がい者、働く世代、子育て世代、介護世代などを含むすべての市民が文化芸術に親しむことができる文化芸術に触れる機会の提供と充実を図るとともに、人材の発掘・育成・支援をテーマに、伊賀市文化会館をはじめとする3つの文化ホールを文化振興拠点として有効に活用し、音楽や演劇など、幅広いジャンルの催しの提供、地域アーティストの積極的な登用、質の高い芸術作品の展示・体験などを通じて、幅広い世代が文化にふれ親しみ、理解を深める機会を提供する。

また、文化芸術に携わる団体・個人や学校と連携し、様々な空間を活用したアウトリーチ事業に取り組むほか、伊賀市文化会館開館30周年記念事業や、ふんと30周年記念事業を展開するなど積極的な芸術文化の振興を推進するとともに、地域の観光、産業の振興に結び付く「文化まちづくり事業」を展開する。

(1) 伊賀市文化会館開館30周年記念事業・ふんと30周年記念事業

- ・伊賀市文化会館開館30周年及び当協会創立30周年を記念し、創造型、交流型、参加型、育成型、鑑賞型など多彩なジャンルと事業形態により、伊賀市文化会館や文化財施設等で公演や展示等を展開する。なかでも会館全体を利用した「創作いけばな」による空間演出と音楽を融合させた自主創作企画「花音のうたげー花が語り 音が伝えるー」や、次世代を担う子どもたちが文化芸術に触れる機会の提供として、平成28年度から実施してきた「キッズ・アカデミー 目指せ アーティスト」の拡大版として「キッズ・アカデミー・アートフェスタ（仮称）」の開催や伊賀市で初めての開催となる「ファミリーオペラ『ヘンゼルとグレーテル』（仮称）」などを開催し、伊賀市文化会館が伊賀市の文化発信拠点として、老若男女を問わず幅広い年齢層の地域住民に愛される文化施設として再認識していただくとともに、地域の文化力向上を図る。

■ 「花音のうたげ」ー花が語り 音が伝えるー、キッズ・アカデミー・アートフェスタ（仮称）、ファミリーオペラ「ヘンゼルとグレーテル」（仮称）、新人演奏会 in いが40周年記念事業、NHK事業「のど自慢」、文化財施設で綴る工芸美術プロムナード 京都工芸美術作家協会展 in 伊賀（仮称）、三重の陶芸家展「陶の現在（いま）を創る者たち」（仮称）、「没後10周年記念展 榊 莫山 ー故郷、伊賀へ帰るー」（仮称）など

(2) クラシック音楽による音楽文化の創造と定着

- ・協会が志向する「文化まちづくり事業」の基盤事業と位置付ける「クラシック人口1%を目指そうプロジェクト」を継続的、かつ拡充に努め、幅広い年齢層に応じたクラシック音楽公演を多数開催する。また、地域のクラシックファンの裾野を広げるため、次世代育成プログラム「ぶんとチャイルドクラシックプログラム」の展開や、伊賀市文化会館で継続的に開催してきた新人演奏会 in いが 40周年記念事業等を展開し、クラシック音楽による音楽文化の創造と定着に努める。



チャイルドクラシックプログラム
(クラシックの絵本の朗読)



ニューイヤーコンサート「展覧会の絵」

■クラシックのいろは 2021、クラシックのいろは 2021 bimonthly コンサート、ぶんとチャイルドクラシックプログラム「おなかのなかから小学生になるまで」、新人演奏会 in いが 40周年記念事業 (再掲)、第16回さんさんコンサート、第40回新人演奏会 in いが、IGA オーケストラアンサンブル BUNTO 演奏会 (仮称) など

(3) 文化ホール主催公演事業

- ・文化芸術に親しむ機会づくりとして、各ホールの特徴を活かしつつ、ジャンルや年齢層等を考慮した多彩な主催公演を企画、実施する。また、平日昼間に限定したイベント等により文化振興事業への更なる理解と関心を促す。



0歳からのファミリークラシックコンサート「動物の謝肉祭」

■古澤 巖の品川カルテット、紡ぐ—TsumugU—、Experienced Lady's Concert Vol.2 (仮称)、公共ホール邦楽活性化事業など

(4) 人材育成事業

- ・伊賀出身のアーティストや地域で活動する団体の発掘、活用に努め、文化芸術活動に関わる人材の育成、支援を図る。また、文化芸術の創造機会を提供し、活動を支援する。



クラシックのいろは「bimonthly Concert」

■紡ぐ—TSUMUGU—(再掲)、クラシックのいろは 2021bimonthly コンサート(再掲)、新人演奏会 in いが 40周年記念事業(再掲)、第31回青山推薦コンサート、第17回「市展いが」、アール・ブリュット コレクション in いが(仮称) など

(5) 参加型普及事業

- ・地域住民自らが文化芸術の振興に積極的・主体的に参画できる場を設け、様々な交流を深めながら「文化がつなぐ まちづくり」への意識を高める。



伊賀エンゲキ塾「ちよちゃんのおむすび」
※公演中止によりリモート配信



新鋭オーケストラと合唱団で創るコンサート
「響楽—IGANOKUNI—」

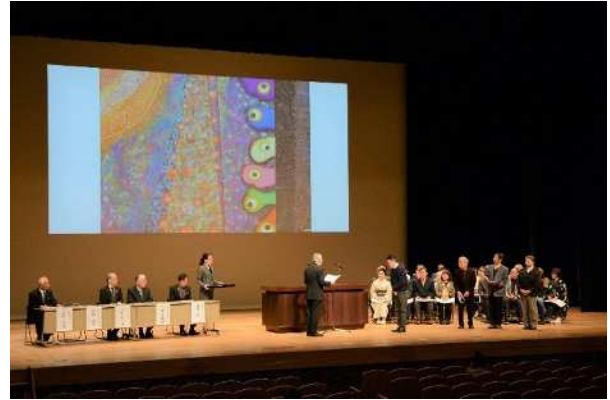
■わたしとあなたを考える演劇ワークショップ、男のピアノ教室(仮称) など

(6) 市民美術展の開催

- ・伊賀市との共催により第16回市民美術展「市展いが」を開催する。伊賀市文化会館での開催4年目を迎え、展示のレベルアップを図るとともに、高等学校等にも積極的にPRを行い、より多くの出展者・鑑賞者が参加できる内容への充実を図る。



市展「いが」(絵画部門)



市展「いが」表彰式

■ギャラリーコンサート、表彰式及び作品講評会、ホールコンサート など

(7) アウトリーチ等による文化芸術の振興事業

- ・ホールを活用した事業にとどまらず、公の施設、教育機関、病院、鉄道等、さまざまな場所での音楽鑑賞や演劇、伝統芸能等のアウトリーチ事業に取り組む。



伊賀焼の穴窯体験

こわしてみんなで新たにつくっちゃおう

■子育て包括支援センターアウトリーチ事業、ぶんとチャイルドクラシックプログラム「おなかのなかから小学生になるまで」プレ公演、灯りと華ライブ 高田泰治(仮称)、すうこうどう寄席 など

(8) 文化ホールART活用事業

- ・文化ホールの建物や空間を活用したART事業の開催に積極的に関わり、アート作品の展示や手づくり体験、音楽鑑賞、飲食ブース設置など、複合型の事業を展開し、あらゆる世代に楽しみながら文化芸術に触れてもらえる機会を提供する。



ホワイエ・ロビー空間活用事業
「上田保隆遺作展」

■「花音のうたげ」－花が語り 音が伝える－（再掲）、ホワイエ・ロビー空間利活用事業「陶と花」 など

(9) 広報及び情報収集事業

- ・ 広報事業委員の編集による「ぶんと通信」(BUNTO NEWS)の発行(隔月発行)により各種文化情報を発信し、「文化がつなぐまちづくり」への関心を促す。
- ・ 伊賀地域内の店舗等へのイベント情報誌「BUNTO」(隔月発行)、ポスター、チラシ、ポストカードの配置をはじめ、地区市民センター(各住民自治協議会)の協力を得たチラシ配布、防災行政無線を活用した開催告知、自主制作による「ぶんとテレビ」の内容の充実、SNSを可溶した情報発信などを一層推進する。
- ・ 文化ホール友の会制度「SaMaZaMa Club」の継続運営と、新規会員の獲得を図る。
- ・ 電子決済サービスを導入し、チケット販売等に関するサービスの充実を図る。

(10) ミュージアム活用事業

- ・ 伊賀市ミュージアム青山讃頌舎の展示室や茶室を活用し、故 穉月 明氏の作品や収集古美術品や資料等の企画展の開催を中心に、伊賀市にゆかりのある芸術家の作品等を展示する企画展の開催のほか、併設の茶室も活用しながら、様々なジャンルの芸術作品を身近に鑑賞できる機会を提供する。



伊賀焼伝統技術保存会会員展

■「没後 10 周年記念展 榊 莫山 －故郷、伊賀へ帰る－」(仮称) (再掲)、穉月明「伊賀の山河に想いを馳せる」(仮称)、アートワークショップ写生大会「青山讃頌舎を描く」(仮称)、「古伊賀憧憬-陶芸家小島憲二の陶とコレクション-」(仮称)、「穉月明の水墨と現代漆芸の美」(仮称)など

(11) 文化ホール等の貸室、貸館及び管理運営事業

- ・ 指定管理者として選定された公の施設等の管理運営及び施設の貸与事業の実施を通して地域の文化芸術の振興や、教育・福祉の増進に取り組む。

■伊賀市文化会館、青山ホール、あやま文化センター、伊賀市ミュージアム青山讃頌舎茶室

【公2】 図書館等の運営による社会への貢献に資する事業

図書、記録その他の資料を収集し、市民により良い読書環境を提供することにより、読書による教養の習得や知識や能力の向上を図るなど社会への貢献に資する事業を行う。

(1) 読書環境提供事業

- ・伊賀市上野図書館、阿山図書室、大山田図書室及びいがまち図書室の図書及び資料の収集と整理を図り、読書環境の整備に努める。
- ・伊賀市上野図書館を主館とし、阿山図書室、大山田図書室及びいがまち図書室の連携管理を実施し、インターネットや窓口による図書の貸し出しやレファレンス等、統一したサービスの提供を行う。
- ・伊賀市内の図書館及び図書室の図書配送サービスにより相互貸借制度を充実するとともに、伊賀市上野図書館の夜間開館に取り組み、市民の読書推進を図る。

(2) 読書推進事業

- ・子どもたちへの絵本等の読み聞かせ「おはなしの会」等を定期的で開催する。
- ・図書館の楽しみ方を紹介する講座、図書館で活躍するボランティアの技術向上や新規ボランティア育成のための講座等を開催する。
- ・図書館の書架やスペースを利用した事業を実施し、図書館を知ってもらい、来館につながるための事業を開催する。



郷土の歴史夜咄会



読書推進事業「クラシックの絵本」

【公3】 地域の文化的遺産の保存・振興事業

地域の歴史的遺産や資料を保存管理し、広く観覧等活用を図ることにより、郷土文化の振興や市民の文化力の向上に資する事業を行う。

(1) 地域の歴史的遺産や資料の保存管理事業

- ・指定管理者として選定された史跡旧崇広堂、入交家住宅、旧小田小学校本館、城之越遺跡、赤井家住宅の適正な管理に努め、歴史的遺産や資料の保存に努める。
- ・旧小田小学校本館において、学校関係資料を収集、整理し、順次公開する。
- ・伊賀市条例に基づき、公益目的に沿った施設の貸与を行う。

(2) 歴史的遺産の周知及び活用事業

- ・市民が気軽に参加できる文化講座等の開催



旧小田小学校 特別企画
「プログラミング体験授業」

■漢文学教室、初等教育施設企画展など

- ・モノづくり、伝統文化などの体験型事業の実施

■現代工芸展アートワークショップ、伝統文化振興事業「がつつりまるごと伊賀焼体験ー粘土作りから焼き上げまでー」(仮称)、雛見茶会 など

- ・文化財施設音楽・演劇鑑賞事業の実施

■「灯りと華ライブ 高田泰治 (仮称)」(再掲)、すうこうどう寄席 (再掲) など

- ・文化財施設の所在する地域住民等との協働事業の実施

■城之越遺跡「古代遺跡 de グラウンドゴルフ」、城之越遺跡屋外アート展「三橋玄竹アート展(仮称)」など

- ・文化財施設を活用した芸術文化振興事業 ※ぶんと 30 周年事業



生活工芸展 (史跡旧崇広堂)



大平和正展 (城之越遺跡)

■文化財施設で綴る工芸美術プロムナード 京都工芸美術作家協会展 in 伊賀(仮称) (再掲)、三重の陶芸家展「陶の現在(いま)を創る者たち」(仮称) (再掲)、光のART 展VII、造形作家河野甲個展「革立体の世界」(仮称)、城之越遺跡屋外アート展「三橋玄竹アート展」(仮称) (再掲)、灯りと華のプロムナード actionX (「伊賀上野灯りの城下町」協働事業)、手づくりアートのひな人形展 (「伊賀上野城下町のおひなさん」共催事業)、AKAIKE ART GALLERY 硝子雛展VIなど

【公4】 スポーツ、屋外活動等の振興事業

スポーツ、野外活動の普及や知識・教養の習得を図り、市民の体力や運動技術の向上、心身のリフレッシュ、自己実現のほか、生涯学習の推進に資する事業を行う。

(1) スポーツ振興事業

- ・ ニュースポーツ、レクリエーション紹介事業及び普及活動の実施
- ・ 体育施設を活用した、心身の健康増進講座の開催

■ ヨーガ、ZUMBA、骨盤矯正ストレッチ、リンパストレッチ、トランポリズム、エアロビクス、ピラティス、美容空手 など

- ・ 市民のスポーツ参加への導入事業の実施

■ 野球場一般開放 集まれ！グラウンドゴルフ仲間！、第16回 BUNTO 杯

- ・ 各種競技への参加機会を作るための「きっかけ作り事業」の開催



ノルディックウォーキング

■ かけっこ教室、ノルディックウォーキング、弓道教室 など

(2) 伊賀市スポーツ協会事務局の運営

- ・ 伊賀市スポーツ協会から受託する事務局業務
青少年育成事業、強化指定選手・団体認定強化事業、スポーツ指導者研修会、スポーツ優秀選手等の表彰事業、各種目競技大会の後援等の企画・運営
- ・ 理事会、評議員会等の開催等



市スポーツ協会表彰式

(3) キャンプ施設の有効活用事業

- ・キャンプ場を利用したアウトドア体験事業の実施
- ・SNS を活用した施設 PR 事業の実施



冬のガーランド作り

■親子で楽しむアウトドアクッキング、キャンプ場で学ぶ防災対策～アウトドアの知識を防災に～ など

(4) 生涯学習振興等に係る施設の管理運営事業

- ・指定管理者等として選定された公の施設等の管理運営及び施設の貸与事業の実施

■体育施設 24施設

上野運動公園スポーツセンター、上野運動公園競技場、上野運動公園野球場、上野運動公園多目的グラウンド、上野運動公園テニスコート、伊賀上野武道館、上野緑ヶ丘テニスコート、ゆめが丘テニスコート、ゆめが丘多目的広場、大山田 B&G 海洋センター及び艇庫、阿山 B&G 海洋センター及び艇庫、阿山第1運動公園、阿山第2運動公園、青山テニスコート、青山グラウンド、島ヶ原グラウンド、しらさぎ運動公園多目的グラウンド・屋外ゲートボール場・管理棟、伊賀市民体育館、伊賀市民弓道場、伊賀市民体育館管理棟

■キャンプ施設 1施設

岩倉峡公園キャンプ場

【公5】 地域産業及び地域文化力の振興事業

産学官連携による環境・食・文化等に関する共同の研究開発、起業の支援及び地域文化力の向上を通して、地域産業の振興と健全な地域社会づくりに資する事業を行う。

(1) 地域産業振興等施設貸与事業

- ・産学官連携地域産業創造センター「ゆめテクノ伊賀」の研究室、インキュベーション室、テクノホール等の適正な貸出及び活用

(2) 起業家への相談、助言の実施

- ・起業家に対し、技術開発、知的財産権、経営、マーケティング等に関する相談に応じ、新たな企業の創業を支援する

(3) 産業振興や地域文化力向上を目的とした主催事業の実施

- ・次世代を担う子どもたちに科学への興味を持ってもらい、将来伊賀地域に貢献できる人材育成を目的に「こども大学 Science Lab」を開催

- ・新規創業者や中小企業などを対象に、セミナーや情報交換・ビジネスマッチングなどの機会を提供する「IGA地域情報交流カフェ」の開催



こども大学 Science Lab



IGA 地域情報交流カフェ

■こども大学 Science Lab（夏休み、春休み）、IGA地域情報交流カフェ

2. 収益事業及びその他事業（公益目的事業以外の事業）

公益目的事業の推進に資するために行う収益事業等

【収1】 施設の利用者へ利便を提供する事業

- ・当協会が管理する公の施設等に設置した、自動販売機による飲料水の販売
- ・主催公演等に伴う音楽CD等の物品販売

【その他1】 公益目的事業に該当しない施設の貸与

- ・指定管理者として管理運営している施設等の貸与のうち、公益目的事業に該当しない施設の貸与

3. 法人管理事業

法人全体を管理統括する事業で、評議員会・理事会に関する事、定款及び諸規程の改廃に関する事、職員の勤務条件及び給与に関する事、予算及び決算に関する事、行政庁に対する定期報告事務に関する事、伊賀市等との連絡調整に関する事等を行う。

(1) 当協会ロゴマークの制定

- ・協会創立30周年を迎えるに当たり、当協会を広く周知し、多くの皆さまに親しまれ支えていただくために、当協会のロゴマークの制定を行います。

令和3年度
収支予算書(正味財産増減計算書ベース)
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	986,000	986,000	0
基本財産受取利息	986,000	986,000	0
特定資産運用益	4,000	4,000	0
特定資産受取利息	4,000	4,000	0
受取会費	2,680,000	3,000,000	△ 320,000
会員受取会費	380,000	450,000	△ 70,000
協賛会員協賛金	2,300,000	2,550,000	△ 250,000
事業収益	503,563,000	477,912,000	25,651,000
受託事業収益	435,159,000	412,024,000	23,135,000
指定管理収益	372,376,000	349,339,000	23,037,000
業務受託収益	62,783,000	62,685,000	98,000
入場料等収益	19,632,000	18,741,000	891,000
物品販売等収益	3,433,000	2,700,000	733,000
自動販売機手数料	2,001,000	2,050,000	△ 49,000
物品販売手数料(事業)	1,303,000	530,000	773,000
物品販売手数料(施設)	129,000	120,000	9,000
利用料金収入	45,339,000	44,447,000	892,000
受取補助金等	43,561,000	46,021,000	△ 2,460,000
受取地方公共団体補助金	17,115,000	17,115,000	0
受取民間補助金	4,700,000	6,200,000	△ 1,500,000
事業補助金等収入	4,700,000	6,200,000	△ 1,500,000
受取補助金等振替額	21,746,000	22,706,000	△ 960,000
雑収益	374,000	909,000	△ 535,000
受取利息	0	1,000	△ 1,000
指定管理施設収入(事業)	65,000	103,000	△ 38,000
指定管理施設収入(施設)	285,000	325,000	△ 40,000
その他施設	24,000	480,000	△ 456,000
経常収益計	551,168,000	528,832,000	22,336,000
(2) 経常費用			
事業費	520,088,000	499,929,000	20,159,000
役員等報酬	794,000	2,495,000	△ 1,701,000
給料	38,893,000	28,483,000	10,410,000
手当	13,828,000	12,325,000	1,503,000
退職給付費用	4,974,000	5,664,000	△ 690,000
賃金	136,881,000	137,405,000	△ 524,000
福利厚生費	17,412,000	16,898,000	514,000
諸謝金	14,791,000	17,217,000	△ 2,426,000
会議費	426,000	479,000	△ 53,000
旅費交通費	636,000	735,000	△ 99,000
通信運搬費	4,820,000	4,683,000	137,000
減価償却費(建物)	21,041,000	21,041,000	0
減価償却費(構築物)	699,000	1,659,000	△ 960,000
減価償却費(什器備品)	6,000	6,000	0
消耗品費	14,762,000	14,372,000	390,000
修繕費	10,559,000	10,640,000	△ 81,000
印刷製本費	11,797,000	12,595,000	△ 798,000
燃料費	2,571,000	2,517,000	54,000
光熱水費	42,154,000	41,880,000	274,000
賃借料	7,789,000	7,397,000	392,000
手数料	2,247,000	2,292,000	△ 45,000
租税公課	20,885,000	18,353,000	2,532,000
支払負担金	182,000	173,000	9,000
賞与引当金繰入額	3,469,000	3,469,000	0
委託料	136,663,000	123,922,000	12,741,000
広告宣伝料	5,792,000	7,071,000	△ 1,279,000
保険料	2,404,000	2,643,000	△ 239,000
備品費	3,243,000	3,200,000	43,000
雑費	370,000	315,000	55,000

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較
管理費	36,378,000	30,586,000	5,792,000
役員等報酬	854,000	1,731,000	△ 877,000
給料	8,163,000	8,091,000	72,000
手当	6,721,000	4,189,000	2,532,000
退職給付費用	2,458,000	1,269,000	1,189,000
賃金	956,000	990,000	△ 34,000
福利厚生費	1,956,000	1,938,000	18,000
会議費	15,000	10,000	5,000
旅費交通費	120,000	105,000	15,000
通信運搬費	450,000	512,000	△ 62,000
消耗品費	912,000	780,000	132,000
修繕費	100,000	50,000	50,000
印刷製本費	50,000	30,000	20,000
燃料費	624,000	420,000	204,000
光熱水費	1,756,000	1,756,000	0
賃借料	1,571,000	1,663,000	△ 92,000
手数料	405,000	382,000	23,000
租税公課	6,707,000	4,256,000	2,451,000
支払負担金	263,000	223,000	40,000
賞与引当金繰入額	987,000	987,000	0
委託料	775,000	770,000	5,000
保険料	400,000	334,000	66,000
備品費	80,000	100,000	△ 20,000
経常費用計	556,466,000	530,515,000	25,951,000
当期経常増減額	△ 5,298,000	△ 1,683,000	△ 3,615,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,298,000	△ 1,683,000	△ 3,615,000
一般正味財産期首残高	202,259,425	200,838,989	1,420,436
一般正味財産期末残高	196,961,425	199,155,989	△ 2,194,564
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
一般正味財産への振替額	21,746,000	22,706,000	△ 960,000
当期指定正味財産増減額	△ 21,746,000	△ 22,706,000	960,000
指定正味財産期首残高	167,785,032	188,570,718	△ 20,785,686
指定正味財産期末残高	146,039,032	165,864,718	△ 19,825,686
III 正味財産期末残高	343,000,457	365,020,707	△ 22,020,250

【注記】

一般正味財産増減の部について、原則として各指定管理施設の包括協定書に定められた指定管理料の基礎となる収支計算書をもとに計上しています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大等による影響が発生したときは、包括協定書の規定に基づき伊賀市と協議を行い、必要に応じて予算を補正します。

令和3年度

収支予算書(正味財産増減計算書ベース)内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計			計 A + B	法人会計 C	合計 A + B + C
	公1	公2	公3	公4	公5	共通	他1 自動販売機等 公益目的外	共通			
	芸術文化	読書推進	文化遺産	スポーツ振興等	地域産業						
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用利益	0	0	0	0	0	493,000	0	0	0	493,000	986,000
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	493,000	0	0	0	493,000	986,000
特定資産運用利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,000
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,000
受取会費	2,380,000	0	0	0	0	2,380,000	0	0	0	2,380,000	2,680,000
会員受取会費	380,000	0	0	0	0	380,000	0	0	0	380,000	380,000
協賛会員協賛金	2,000,000	0	0	0	0	2,000,000	0	0	0	2,000,000	2,300,000
事業収益	196,312,000	58,817,000	32,681,000	172,219,000	2,469,000	482,298,000	3,213,000	2,471,000	5,684,000	467,982,000	503,563,000
受託事業収益	169,708,000	58,817,000	29,647,000	141,606,000	0	399,578,000	0	0	0	399,578,000	435,159,000
指定管理収益	169,708,000	0	29,647,000	138,301,000	0	337,656,000	0	0	0	337,656,000	372,376,000
業務受託収益	0	58,817,000	0	3,305,000	0	61,922,000	0	0	0	61,922,000	62,783,000
入場料等収益	13,475,000	0	1,064,000	5,093,000	0	19,632,000	0	0	0	19,632,000	19,632,000
物品販売等収益	0	0	220,000	0	0	220,000	3,213,000	0	0	3,433,000	3,433,000
物品販売手数料	0	0	0	0	0	0	2,001,000	0	0	2,001,000	2,001,000
物品販売手数料(事業)	0	0	220,000	0	0	220,000	1,083,000	0	0	1,303,000	1,303,000
物品販売手数料(施設)	0	0	0	0	0	0	129,000	0	0	129,000	129,000
利用料金収入	13,129,000	0	1,750,000	25,520,000	2,469,000	42,868,000	2,471,000	2,471,000	4,942,000	45,339,000	45,339,000
受取補助金等	4,700,000	58,817,000	32,681,000	172,409,000	41,354,000	509,106,000	3,213,000	2,471,000	5,684,000	514,790,000	551,168,000
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	17,115,000	17,115,000	0	0	0	17,115,000	17,115,000
受取民間補助金	4,700,000	0	0	0	0	4,700,000	0	0	0	4,700,000	4,700,000
事業補助金等収入	4,700,000	0	0	0	0	4,700,000	0	0	0	4,700,000	4,700,000
受取補助金等振替額	0	0	0	0	21,746,000	21,746,000	0	0	0	21,746,000	21,746,000
雑収益	160,000	0	0	190,000	24,000	374,000	0	0	0	374,000	374,000
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定管理施設収入(事業)	65,000	0	0	0	0	65,000	0	0	0	65,000	65,000
指定管理施設収入(施設)	95,000	0	0	190,000	0	285,000	0	0	0	285,000	285,000
その他施設	0	0	0	0	24,000	24,000	0	0	0	24,000	24,000
経常収益計	203,552,000	58,817,000	32,681,000	172,409,000	41,354,000	509,106,000	3,213,000	2,471,000	5,684,000	514,790,000	551,168,000
(2) 経常費用											
事業費											
役員等報酬	356,000	11,000	107,000	293,000	27,000	794,000	0	0	0	794,000	1,648,000
給料	26,059,000	10,843,000	414,000	1,134,000	103,000	38,553,000	0	340,000	340,000	38,893,000	47,056,000
手当	10,209,000	3,500,000	0	0	0	13,709,000	0	119,000	119,000	13,828,000	20,549,000
退職給付費用	2,695,000	2,226,000	0	0	0	4,921,000	0	53,000	53,000	4,974,000	7,432,000
賞金	19,624,000	30,892,000	15,949,000	65,094,000	5,322,000	136,881,000	0	0	0	136,881,000	137,837,000
福利厚生費	7,898,000	5,183,000	866,000	2,641,000	744,000	17,332,000	0	80,000	80,000	17,412,000	19,368,000
諸謝金	10,659,000	129,000	745,000	2,998,000	280,000	14,791,000	0	0	0	14,791,000	14,791,000
会議費	345,000	1,000	34,000	30,000	16,000	426,000	0	0	0	426,000	441,000
旅費交通費	202,000	58,000	65,000	42,000	289,000	636,000	0	0	0	636,000	756,000
通信運搬費	2,386,000	2,000	483,000	1,500,000	449,000	4,820,000	0	0	0	4,820,000	5,270,000
減価償却費(建物)	0	0	0	0	21,041,000	21,041,000	0	0	0	21,041,000	21,041,000
減価償却費(構築物)	0	0	0	0	699,000	699,000	0	0	0	699,000	699,000
減価償却費(什器備品)	0	0	0	0	6,000	6,000	0	0	0	6,000	6,000
消耗品費	4,354,000	60,000	1,510,000	8,204,000	634,000	14,762,000	0	0	0	14,762,000	15,674,000
修繕費	1,657,000	0	500,000	8,140,000	59,000	10,356,000	0	203,000	203,000	10,559,000	10,659,000
印刷製本費	9,990,000	0	1,002,000	629,000	80,000	11,701,000	0	96,000	96,000	11,797,000	11,847,000
燃料費	1,396,000	0	10,000	1,135,000	30,000	2,571,000	0	0	0	2,571,000	3,195,000
光熱水費	11,648,000	0	2,495,000	23,884,000	2,405,000	40,432,000	582,000	1,140,000	1,722,000	42,154,000	43,910,000
賃借料	5,049,000	0	66,000	2,085,000	587,000	7,789,000	0	0	0	7,789,000	9,360,000
手数料	1,402,000	0	115,000	730,000	0	2,247,000	0	0	0	2,247,000	2,652,000
租税公課	4,800,000	5,389,000	1,708,000	7,269,000	1,719,000	20,885,000	0	0	0	20,885,000	27,592,000
支払負担金	97,000	0	0	35,000	50,000	182,000	0	0	0	182,000	445,000
賞与引当金繰入額	2,200,000	1,224,000	0	0	0	3,424,000	0	45,000	45,000	3,469,000	4,456,000
委託料	79,132,000	0	6,090,000	44,608,000	6,833,000	136,663,000	0	0	0	136,663,000	137,438,000
広告宣伝料	5,037,000	0	665,000	100,000	0	5,792,000	0	0	0	5,792,000	5,837,000
保険料	1,001,000	4,000	13,000	1,067,000	205,000	2,290,000	0	114,000	114,000	2,404,000	2,804,000
備品費	1,200,000	0	200,000	1,793,000	50,000	3,243,000	0	0	0	3,243,000	3,323,000
雑費	60,000	0	0	310,000	0	370,000	0	0	0	370,000	380,000
経常費用計	209,456,000	59,522,000	33,029,000	173,721,000	41,568,000	517,316,000	582,000	2,190,000	2,772,000	520,088,000	556,466,000
当期経常増減額	△ 5,904,000	△ 905,000	△ 348,000	△ 1,312,000	△ 234,000	△ 8,210,000	2,631,000	281,000	2,912,000	△ 5,298,000	△ 5,298,000
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用											
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	1,359,000	△ 1,295,000	△ 64,000	△ 1,359,000	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,904,000	△ 905,000	△ 348,000	△ 1,312,000	△ 234,000	△ 6,851,000	1,336,000	217,000	1,553,000	△ 5,298,000	△ 5,298,000
一般正味財産期首残高	73,675,427	△ 7,558,975	4,682,962	19,683,546	1,734,447	105,706,185	8,803,097	2,007,825	10,810,922	116,517,107	202,259,425
一般正味財産期末残高	67,771,427	△ 8,463,975	4,334,962	18,371,546	1,500,447	98,855,185	10,139,097	2,224,825	12,363,922	111,219,107	196,961,425
II 指定正味財産増減の部											
受取補助金等	0	0	0	0	0	21,746,000	0	0	0	21,746,000	21,746,000
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	△ 21,746,000	△ 21,746,000	0	0	0	△ 21,746,000	△ 21,746,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	167,785,032	167,785,032	0	0	0	167,785,032	167,785,032
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	146,039,032	146,039,032	0	0	0	146,039,032	146,039,032
正味財産期末残高	67,771,427	△ 8,463,975	4,334,962	18,371,546	147,539,479	15,340,778	10,139,097	2,224,825	12,363,922	257,258,139	343,000,457

資金調達及び設備投資の見込みについて

1 資金調達の見込みについて

借入れの予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業番号	借入先	金額		使 途	
	該当なし				

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載する。

2 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額		資金調達方法又は取得資金の使途	
	該当なし				

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容を記載する。